

3 現在地の地図画面に戻るときは、**現在地に戻る** をタッチする

お知らせ

- F-3手順 **2** で自動再探索を **する** に設定している場合、ルート案内中に探索条件を変更し、**戻る** または **現在地に戻る** をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、**有料優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。**道幅優先** を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- **複数** を選択した場合、ルート探索すると、全ルートが表示されます。全ルート画面には、**自動**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** が表示されるため、ルートを確認後、お好みのルートを選択してください。【**替**】「**複数ルート探索をする**」D-8
- ルート編集画面／目的地画面で経由地を追加した場合は複数探索はできません。
- **複数**、**自動**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** は、いずれか1つ設定できます。
- F-3手順 **2** で全ルートを表示 **する** にした場合、ルート探索終了後全ルートを表示し、全ルートを表示 **しない** にした場合、ルート探索終了後全ルートは表示しません。
- フェリーを優先 **する** 設定にしても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先する設定にしても、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行うルート案内探索の探索条件になります。

料金表示について

- 表示される金額は、現金支払いの場合の料金となります。
- 表示される金額は割引などにより実際に請求される金額と異なる場合があります。
※料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
※表示される金額は、計算可能な有料道路分の料金となります。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金は表示されず「---円」になります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は「---円」になります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない(---円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 新規開通道路を含んだ高速道路、料金非対応路線を通るルートの場合、料金は計算対象外となります。